

natriance™ ageless extract

natriance™ ageless は、アシュランド・ジャパン株式会社の、コラーゲン産生成分と角質層保湿成分を組み合わせたハイブリッド原料。表皮-真皮-表皮と真皮の接合部（DEJ）膜領域の主要なコラーゲン“4C”の発現を増加させ、表皮の再生促進、肌の水和・バリア機能の向上、目元に滑らかさ、弾力・ハリを与え、パーソナルケア処方に機能を付与します。

【成分】

INCI : Hexapeptide-9 (0.001-0.1%)、Hydrolyzed Collagen (0.5-3.0%)
Glycerin (10-15%)、Sodium PCA (1-5%)、Water (80-90%)
Erythritol (0.5-2%)、Carrageenan (0.5-1.5%)、Xanthan Gum (0.1-0.6%)
Benzoic Acid (0.1-0.3%)、Sorbic Acid (0.1-0.2%)

表示名称 : ヘキサペプチド-9、加水分解コラーゲン、グリセリン、PCA-Na、水
エリスリトール、カラギーナン、キサンタンガム、安息香酸、ソルビン酸

中文名称 : 六肽-9、水解胶原、甘油、PCA 钠、水、赤藓醇、角叉菜聚糖（卡拉胶）、黄原胶
苯甲酸、山梨酸

生分解性、ISO 16128 自然由来指数 0.98、RSPO グリセリン

【特長】

表皮-真皮-表皮と真皮の接合部（DEJ）膜領域の主要なコラーゲン“4C”の発現を増加させ、young skin へ導く。（コラーゲン 1,3,4,17 の発現増加）
表皮の再生促進、肌の水和・バリア機能向上、目元に滑らかさ付与、弾力・ハリ改善
性状：半透明の粘性液体、水溶性、40℃以下の水相に添加

【用途】

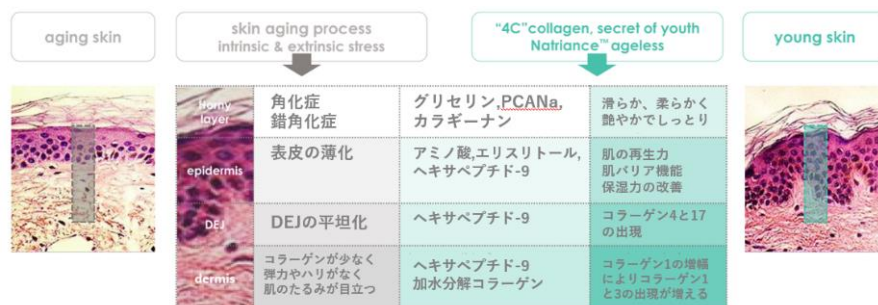
スキンケア（コラーゲン再生、目元ケア、肌保湿・ひき締め、ボディケア）
ヘアケア（髪コンディショニング、頭皮の鎮静化）、推奨配合量：1-5%

【“4C” コラーゲン（1,3,4,17）を増幅する Natriance™ageless は若さの秘訣】

Natriance™ageless は、表皮-真皮-表皮と真皮の接合部（DEJ）膜領域の主要なコラーゲン“4C”の発現を増加させ、young skin へ導く。

- ・角質層（horny layer）滑らかさ、ハリ、しっとり付与
- ・表皮（epidermis）再生促進、バリア、保湿 付与
- ・DEJ（DEJ）コラーゲン 4,17 の発現増加
- ・真皮（dermis）コラーゲン 1,3 の発現増加

（DEJ=Dermal Epidermal Junction）



本資料に記載されている内容は、最終製品における経時安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。
商品化に際しましては、貴社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討下さい。

■ young vs. aged skin (肌の老化と共に DEJ が平坦化する)

The flattening of DEJ is a key feature of pre-mature aging skin.

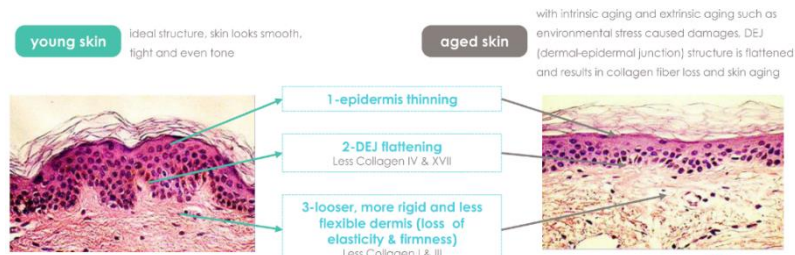
1-表皮の薄化

2-DEJ の平坦化

(コラーゲン 4,17 減少)

3-硬く柔軟性(弾力,ハリ)を失った真皮

(コラーゲン 1,3 減少)



■ “4C” コラーゲンが肌の若々しさを保つためには必要

・1st C - structure コラーゲン 1

真皮に最も存在する線維性コラーゲン、肌の強度や健全性を提供

・2nd C - renew コラーゲン 3

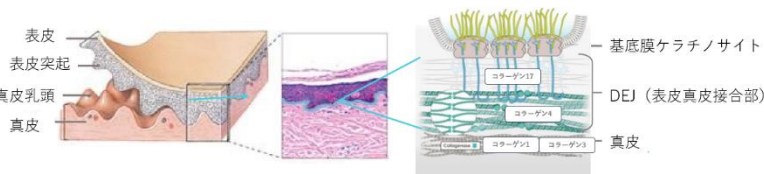
コラーゲン 1 と共に存在し、真皮の修復や皮膚の再生に関係する

・3rd C - network コラーゲン 4

表皮と真皮のネットワーク構造を形成し、DEJ 構造を保つ

・4th C - signal コラーゲン 17

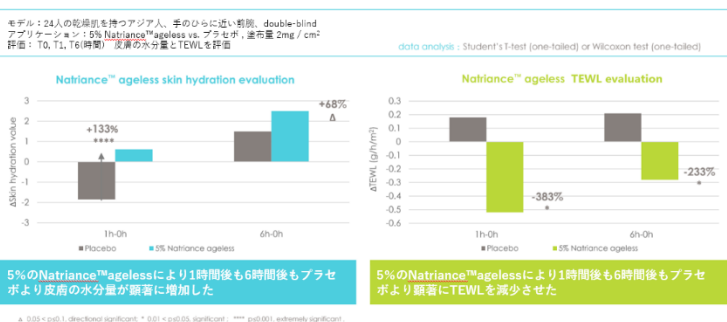
膜貫通型コラーゲンとして DEJ 膜下でセラチノサイトの接着構造を維持する



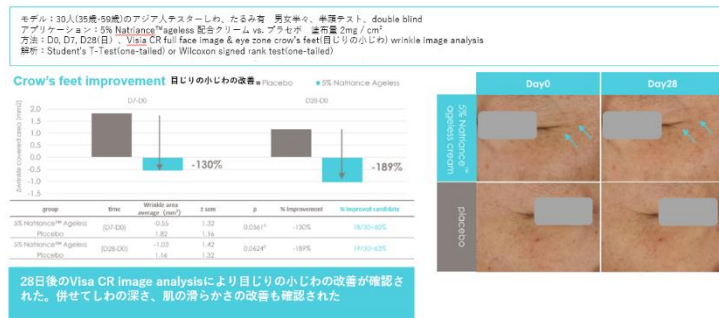
【ex vivo 評価 4 種類コラーゲンの発現を増加 (コラーゲン 1,3,4,17)】



【in vivo 評価 肌の水和・バリア機能を向上させた】



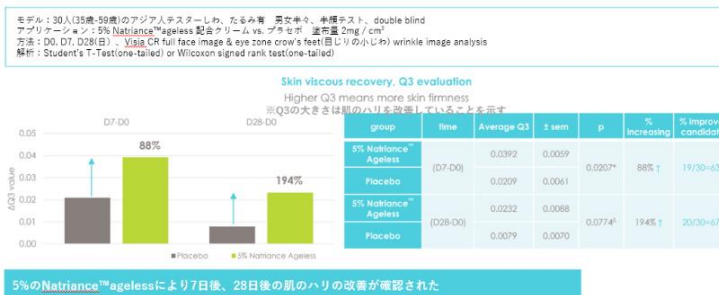
【clinical study 目尻に滑らかさが与えられた】



【clinical study 肌弾力の改善がみられた】



【clinical study 肌ハリの改善がみられた】



本資料に記載されている内容は、最終製品における経時安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、貴社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討下さい。



MP五協フード&ケミカル株式会社

本社 TEL: 06-7177-6868 東京支店 TEL: 03-5643-3615

<https://www.mpgfc.co.jp/contact/>

2020.05.28